

「JATAの森」プロジェクトが終了

8年に及ぶ活動に延べ1000人以上が参加

JATAが2009年から環境保全活動の一環として、埼玉県長瀬町の里山である宝登山で活動してきた「JATAの森」プロジェクトは、7月2日の下草刈りで終了しました。8年間に苗木の植え付けや下草刈りなどの活動に参加した延べ人数は1000人を越え、植樹した木々はしっかりと根付き、自力で生育することが確認されています。

植栽木の成長に不可欠な 下草刈り

JATAは7月2日、埼玉県長瀬町宝登山で「JATAの森」の下草刈りを実施しました。今回の下草刈りには、JATA会員会社の社員や家族など47人が参加しています。

下草刈りは、夏本番を迎える前に繁茂する草木を取り除くことにより、光や空気の流れを良くして、植えた木々の成長を促進させる働きがあり、植栽木の成長には不可欠な作業の一つと言われています。

麓の駐車場に集合した参加者は、ロープウェイと徒歩で麓と山頂の中間に位置する「JATAの森」の現場まで移動。長瀬町の大澤タキ江町長とJATA社会貢献委員会の黒川恵副委員長の挨拶に続いて、公益社団法人埼玉県農林公社の山中政彦氏から下草刈りの方法について説明を受けた後、約0.5ヘクタールをAからEまでの5班に分かれて活動を行いました。



宝登山で実施された下草刈り

植樹した木々の順調な生育 を確認

埼玉県と埼玉県農林公社の方の指導を受けた参加者らは、長い鎌を使って植樹したモミジなどの周りに繁茂する草木を刈る作業を1時間以上にわたって実施。下草を刈り取ったあとは、植樹したイロハモミジやイタヤカエデ、ヤマザクラなどが2メートル近い背丈まで伸びている様子が見えるようになり、順調に生育している様子を確認できました。

JATAは2009年から環境保全活動の一環として、長瀬町の里山である宝登山を色彩豊かな森にすることを目指して、会員会社とともに植樹や下草刈りを行う森づくり活動「JATAの森」を実施してきました。

「JATAの森」では、8年間にわたって延べ1000人以上が参加して苗木の植え付けや下草刈りの作業を行ってきています。植樹した木々はしっかりと根付いて、自力で生育することが確認されたため、このプロジェクトの活動は今回で終了しました。

参加者の間からは、活動の終了を大変に惜しむ声も聞かれましたが、今後は、植樹した木々の成長を見守っていくこととなります。



大澤タキ江 長瀬町町長



黒川恵 社会貢献委員会副委員長

「JATAの森」活動の記録

- 2009年10月 埼玉県長瀬町宝登山で「JATAの森」植樹祭を開催。約200人が参加
- 2009年11月 「JATAの森」植樹・間伐活動を実施。15人が参加
- 2010年06月 「JATAの森」下草刈りを実施。約100人が参加
- 2010年11月 「JATAの森」間伐作業を実施。16人が参加
- 2011年07月 「JATAの森」下草刈りを実施。約50人が参加
- 2011年11月 「JATAの森」間伐作業を実施。19人が参加
- 2012年07月 「JATAの森」下草刈りを実施。約50人が参加
- 2012年11月 「JATAの森」間伐作業を実施。18人が参加
- 2013年07月 「JATAの森」下草刈りを実施。約50人が参加
- 2013年11月 「JATAの森」間伐作業を実施。12人が参加
- 2014年06月 「JATAの森」下草刈りを実施。44人が参加
- 2016年07月 「JATAの森」下草刈りを実施。47人が参加

2009年10月には、約200人が参加して「JATAの森」植樹祭が開催されました



2009年5月には、JATAと埼玉県、長瀬町などが「埼玉県森林づくり協定書」を締結しました